

## 第8期（H29-R1年度）の状況報告および第9期への課題・申し送り事項

第8期は、2019年に元号が平成から令和に変わり、2020年は東京オリンピック・パラリンピックが予定され（コロナ禍で延期）、震災後10年目の年を迎えるなど、さまざまな面で節目を迎えた3年間であったといえる。シンポジウムのメインテーマも「安全・安心な社会の形成に向けて」が震災以降これまで続いていたが、第25回（2020.1月）で「次世代に向けた持続性の高い地下空間の創造」へと変わった。この間の地下空間シンポジウム開催概要は以下の表の通り。

**第23回**では、都市機能向上に向けて更なる活用が期待される地下空間のネットワーク形成を進める上で、ハード・ソフトの両面からその計画・利用のあり方等について議論した。

**第24回**では、少子高齢化、インバウンドの増加等で利用者・利用目的の多様化に対応し、安心して利用できる地下空間のありかたについて議論した。

※この回より論文集の冊子配布を取りやめ、CD化して参加者に配布することとした。

**第25回**では、これまで続いたテーマからJSCE2020を反映したテーマとなった。「次世代になく」、「持続性」をキーワードに、昨今社会的問題となっているインフラストックの老朽化とその維持管理・更新にかかわる様々な課題を明らかにして、地下空間利用の課題解決に向けた議論を行った。（JSCE2020副題：「地域・世代・価値をつなぎ、未来社会を創造する」）

第9期に入り、シンポジウム実行委員会は東日本高速道路株式会社の良峰関東支社長を委員長をお招きし、鋭意活動中である。シンポジウムのテーマ設定とパネルディスカッションにおける議論の内容・登壇者等を決定することは、実行委員会の大きな業務の一つである。第9期のシンポジウムもタイムリーで、参加者が興味深く聞くことができ、より多くの参加者が望めるものとした。また、パネルディスカッションでは引き続き参加者の方々の意見・質問を求め、会場参加型とすることによって活発化したい。今後の課題としては、開催形態についてWEBを活用するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応したシンポジウムの開催形態とすることが求められる。

第8期 地下空間シンポジウム概要					
回数	開催日	実行委員長	テーマ	基調講演	パネルディスカッション
第23回	2018/1/24	鉄道運輸機構 理事 服部修一	安全・安心な社会の形成に向けて ～都市機能の向上を目指した 地下空間ネットワークの形成～	「都市再生と地下空間利用」 国交省大臣官房技術審議官 (都市局担当) 廣瀬 隆正	(コーディネータ) 大沢 昌宏 日本大学理工学部土木工学科 教授 (パネリスト) 渡邊 浩司 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 金山 洋一 鉄道運輸機構 技術企画部長 高森 義憲 札幌市 まちづくり政策局長 金井 聡 森ビル都市開発本部計画企画部長
第24回	2019/1/25	東京都都市整備局 理事 中島 高志	安全・安心な社会の形成に向けて ～利用者の多様化と増加に対応した 人にやさしい地下空間～	「人にやさしい地下空間のあり方」 国交省大臣官房技術審議官 (都市局担当) 徳永幸久	(コーディネータ) 榎田順朗 (委員会副委員長) 松谷春敏 大阪府 代表取締役副社長 (パネリスト) 堀谷智弘 大阪府 代表取締役副社長 竹沢えり子 銀座街づくり会議・デザイン会議 事務局長 太田雅文 東急電鉄 渋谷戦略事業部 副事業部長 中島高志 東京都都市整備局 理事
第25回	2020/1/24	JR東日本 構造技術センター 所長 野澤伸一郎	次世代に向けた持続性の高い地下空間の創造 ～みんなで考えるインフラのあり方～	「次世代に向けた持続可能な 地下空間のあり方」 国交省大臣官房技術審議官 (都市局担当) 徳永幸久	(コーディネータ) 森本幸倫 早稲田大学理工学術院教授 (パネリスト) 塚田幸広 土木学会専務理事 木村定雄 地下空間研究委員会委員長 成澤守 株式会社エス力理事・施設部担当部長 外石信 新潟県経済部商業振興課課長補佐
第9期 地下空間シンポジウム概要					
第26回	2021/1/20	東日本高速道路 株式会社 関東支社長 良峰 透	検討中	検討中	検討中